

## 1 わたしがみつけた椿スポット

今年も椿の季節になりました。  
五島列島に自生するつばきは千百万本。  
上五島だけでも六八〇万本あり  
全国一と言われています。  
その歴史は千年以上前の  
遣唐使の時代に貢物として、  
椿油が送られていたと記述があるほど。  
さあ、つばき散歩に出かけましょう！  
あなたがみつけた  
つばきスポットも教えてください。

## 2 椿公園（津和崎）

灯台の周りに整備された  
遊歩道沿いにヤブツバキが見られます。  
海を背景に椿が花咲く風景は  
他ではなかなか見られない絶景です。

## 3 椿街道（新魚目）

県道32号線沿いには自生の椿が連なっています。  
椿の向こうに広がる海とのコントラストが絶景です。

## 4 番岳（小串）

上五島で1番高い番岳（442.3m）の北側山頂には  
姫椿（サザンカ）と  
藪椿の約300本の原生林があります。  
どうしてこのように椿が  
多く自生したのでしょうか。

## 10 藪椿の原生林（若松）

樹齢70～100年の藪椿  
約1,500本が自生。  
また、月ノ浦には幹回りが  
1.8メートルほどある  
大ツバキがあり、  
実は多く早くつけるが、  
老木のため落ちる実が  
多いといえます。

## 9 藪椿の群生地（高井旅）

数万本とも言われるほどの  
藪椿が群生しています。  
また、高井旅教会の赤い屋根と  
椿の赤い花、  
そして青空のコントラストも  
美しい風景を作り出しています。

## 7 椿並木（七目）

強風時の海岸からの  
吹上風を和らげるための防風林。  
花が落ちた道は赤いじゅうたんを  
敷き詰めたようです。

## 5 小さな椿（蛤）

小輪椿と呼ばれる、  
直径わずか3センチほどの  
可愛い椿に出会えます。  
海の側に椿があるというのは、  
「海石榴」が意味する  
「海から渡ってきたザクロ  
（椿の実が似ていることから）」  
の通りで歴史を感じます。

## 6 鯨見山（有川）

江戸時代の捕鯨が盛んだったころ  
「見張所」が置かれていた場所。  
展望台までの遊歩道の周囲に  
ツバキがたくさん。  
ピンクの椿が見られるかも？！  
資生堂による椿の植林・保全  
ボランティア活動が行われたのもこの場所です。

## 8 稗ノ口の大椿（青方）

幹回りが2メートル以上、  
推定樹齢350年という大木です。  
幹回りの大きさから上五島第一と言われています。  
近くには樹齢250年と推定されている  
兄弟椿と呼ばれる大木があります。

## つばき里山まつり

2月14日（土）10:00-13:30  
会場：新上五島町石油備蓄記念会館  
主催：新上五島町つばき里山まつり実行委員会

## お願い

- 1) 場所によっては私有地内の場合がありますので、無断で立ち入らないでください。
- 2) 椿の花や枝を折るなどの行為は絶対に行わないでください。
- 3) 私有地、私道での写真、動画撮影はしないでください。
- 4) 路上や私有地への無断駐車は絶対におやめください。
- 5) お散歩中にゴミを見つけたら、ぜひ拾って持ち帰ってくださいご協力をお願いします。

椿は大切に守り続けたい私たちの宝物です。  
くれぐれもマナーを守ってつばき散歩をお楽しみください

つばきマップの  
ダウンロードはこちら

